



芳野小だより

《かしこい子 やさしい子 たくましい子》

川越市立芳野小学校
学校だより 第7号
令和7年10月1日
川越市鴨田331
電話 049-222-1264
fax 049-229-1219

「まっすぐな心で…」

このところ朝晩はだいぶ涼しくなり、過ごしやすい季節になってきました。秋は、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋など、様々に例えられますが、なるほど、何をするにも適した季節ですね。

本校も10月は「読書の秋」、芳野小「読書月間」の取組を行います。皆さんもご存じかと思いますが、10月27日は「読書の日」で、この日から11月9日までの2週間を「読書週間」として、日本全国で様々な読書に関する催しや取組が行われます。

今年の読書週間の標語は、「こころとあたまの、深呼吸。」です。作者の方は、「めまぐるしい日常に息が詰まるとき、私は本を開きます。心が震え、ため息をつく。ハッと気がつき、息をのむ。一息ついて、まためくる。そして、こころとあたまに酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いでいける気がします。」というコメントを添えています。

本は、心と頭の栄養です。「活字離れ」と言われて久しいですが、読書を通して心と頭に新鮮な空気を取り入れて、自分の知性や感性などを、今後も磨いていきたいものです。

さて、タイトルの「まっすぐな心で…」は、9月の生活目標の「相手の目を見て話を聞こう」からのお話です。

「聞く」は、「聴く」とも書きます。実は、「聴く」という漢字には、次の5つの聞き方が入っています。

①「耳」で聞く、②「目」で聞く、③「心」で聞く、④「十分（じゅうぶん）」に最後まで聞く、⑤「まっすぐな心」で素直に聞くの5つです。

①～④までは、漢字の部分から充ててあるので、すぐに分かりますね。

⑤の「まっすぐな心」で聞くには、少し説明が必要です。

この「聴く」という漢字とつくりが同じ「徳」という漢字があります。そして、「聴」と「徳」のつくりは、もともとは「まっすぐな心」を意味する「慮（とく）」が含まれるそうです。

相手の話に、耳や目を傾け、心で十分に聞くということ、そして、さらによくまっすぐな心で素直に聞き入れること、そして、「聴く」に含まれる5つの聞き方ができるようになります。実は、相手の話をまっすぐな心で素直に聞くと、話していることがより深く理解できるようになります。また、話し手の信頼も得ることができます。

「聴く」の5つの聞き方を大切に、「まっすぐな心で」素直に聞くことで、自分にも相手も大いにプラスをもたらしていきましょう。

(校長 生駒 義郎)